

特集
介護開国

外国人 介護人材との 付き合い方

これまで「永住」や「定住」およびEPAに限られていた外国人の介護分野での就労の門戸が「改正入管法」と「技能実習法」により、大きく広がった。今後、外国人材が介護の現場で働く機会はますます増え、彼ら・彼女らを現場でどう活用していくかが、事業所運営の大きなカギを握っていく。そこで、すでに外国人材を受け入れて活用している事業者や就労している外国人の現状を捉え、外国人材を今後も円滑に受け入れ、力を発揮してもらうために、押さえておきたいポイントを探っていく。



contents

基礎

フローチャートで見る
介護現場に外国人を受け入れるまで

受け入れ事例 1

● 社会福祉法人 伸こう福祉会(川崎市幸区)
外国人材の受け入れを始めて40年
「よく話を聞くこと」が対応の秘訣

受け入れ事例 2

● 社会福祉法人 合掌苑(東京都町田市)
基本理念の「地域貢献」への共感が
外国人材受け入れの大前提

受け入れ事例 3

● 社会福祉法人 寿泉会(福岡県朝倉市)
フィリピン人の適性を確信
共に働く仲間として受け入れる

インタビュー

日本の介護現場で働く外国人材の声

解説

外国人介護人材の活用には
文化背景・来日理由の理解が必須
高山善文 ティー・オー・エス株式会社代表取締役

受け入れ事例 2

社会福祉法人合掌苑(東京都町田市)
基本理念の「地域貢献」への共感が
外国人材受け入れの大前提

外国人材データ
ベトナム:2人 中国:1人
資格外活動許可、
アルバイト等は除く
(2017年10月末)

将来を見据え
高度外国人材を採用

社会福祉法人合掌苑は東京都町田市で60年近く介護事業・障害福祉事業を展開して



高度外国人材の3人

きた。開設当初から「地元・地域のために貢献すること」を基本理念の一つに活動している。

採用でも、この基本理念は大事にしている。「うちは典型的な理念経営をしています。理念に共感できる人に来てもらっています。それは日本人であれ、外国人であれ変わりません」と、同法人の森田健一マネージャーは説明する。

現場で働くことが予想される。同法人ではそうした動きを見越して、昨年以降、ベトナム人2人と中国人1人を、法人本部所属の高度外国人材として採用した。「私たちがは当法人の大事な理念を伝えきれません。高度外国人材として採用した彼らが、この理念を自分たちの母国語で仲間たちに伝えてくれることが重要です」(森田さん)。3人には、同法人の日本人職員と、これから技能実習制度などを通し、同法人で働くことになる外国人介護人材との橋渡し役も期待されている。

採用に際し、大事にしているもう一つの基準に、「資質があるかどうか？」がある。「海外人材も含め、資質には注視しています。資質のない人を教育しても無駄です。資質のある人を採用し教育すれば、ますます磨かれていきます」と、森田さんは話す。

いる。

協同組合を通して
技能実習生の採用予定

技能実習制度を通しての採用については、同法人の敷地内にある「町田介護支援ネットワーク協同組合」を通して行う予定だ。同組合はもともと、2000年の介護保険制度施行を機に保険請求事務を効率化する目的で設立された。株式会社NTTデータが開発した介護保険請求ソフト「かがやきふらん」を導入、単独法人で効率化を図るには難しいと考え、町田市内6法人が参加して同組合をつくった

のだ。

その組合が今、技能実習生を受け入れる枠組みとして機能し始めた。同組合のスタッフも兼ねる森田さんは、「現地の送り出し機関についても、自分たちで選定できるのは大きい」と話す。自分たちで運営する組合ならば、受け入れたくない人材を押し付けられる心配もない。同組合には現在、新規加入の申し込みも来ており、参加法人が10になると想定して、初年度は約20人受け入れたいとしている。

「各法人に2人ずつ紹介していくイメージです。一気に増えてしまつては、我々としても対応しきれません。安心して働けるサポート体制をしっかりと組みたい」。

技能実習生として来日する外国人材の多くが、時に日常生活もおぼつかない日本語能力試験N4レベルで介護の現場に入ってくる。また、母国で社会人としての経験を積んでいない若い層の場合は、言葉の問題だけでなく、習慣や

文化の違いから来るトラブルも予想される。森田さんも、「日本の習慣等はある程度、ポリュームを持って教えないといけない」と配慮を示す。

同法人では現在、3人の高度外国人材のほかに、外国人留学生が6〜7人、資格外活動許可(上限週28時間以内)を得てアルバイトしているほか、日本人と結婚した外国人などがすでに働いている。こうしたアルバイトも入れれば、全職員570人中外国人材は15人程度いる。

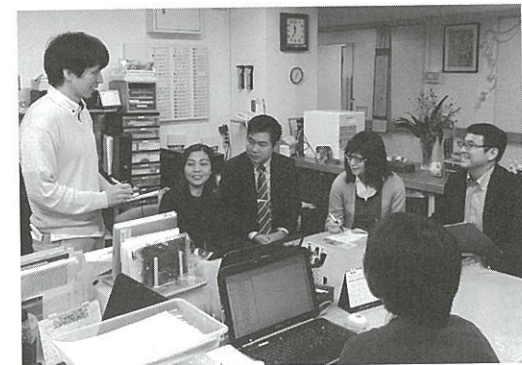
アルバイト志望のベトナム人留学生の面接はディエンさんが行っている。ベトナム語による同法人のFacebookも立ち上げ、積極的に同胞に同法人で働くことを呼びかけている。森田さんは技能実習生を含む正規の外国人材の本格的採用についても、「将来は高度外国人材の3人に、採用面接に

対応してもらいたい」と期待する。制度として、介護の世

界に外国人材を受け入れるのは、今回の技能実習制度が初めてとなる。森田さんは、「お金が先ではなく、介護の仕事をしたという心構えを持って、介護の現場はこういうところだ、こういうことができるんだということを理解してもらううえで来てもらいたい」と釘をさす。日本式介護を、これから介護の現場で働く外国人材にきちんと伝えられるか? 離職させず日本語の飛び交う介護現場で働いてもらえるか? 3人の高度外国人材にも大きな役割が求められている。



人材募集を呼びかけるベトナム語のFacebook



日本人スタッフと入念な打ち合わせ

日本の介護現場で働く 外国人材の声



インタビュー

プロフィールの見方

- ①職種 ②在留資格 ③出身地 ④来日年
⑤事業所名(所在地)

文化・風習・仕事観等が異なる日本の介護現場で、外国人材はどのような思いを持って働いているのだろうか。悩みや抱負、日本の介護に対する感想等を、5カ国・14人に聞いた。



りゅう ろん
劉蓉さん
(61歳)

- ①介護職 ②日本国籍取得 ③中国(上海) ④2013年11月
⑤社会福祉法人伸こう福祉会 クロスハート幸・川崎(川崎市幸区)

介護福祉士資格にチャレンジ中

日本に来る前は、中国の病院で看護師として働いていました。日本の方との結婚をきっかけに日本に来ました。日本語は夫から学んでいます。せっかく日本に来たので、自分が元気なうちに働きたいと思い、市役所の外国人向けの求人情報を見てクロスハート幸・川崎に応募しました。看護師として患者さんに接していたように、「利用者さんだったらどんなケアを受けたいか」「どんな言葉をかければ利用者さんと打ち解けられるのか」など、いつも考えながら働くことを心がけています。現在、実務者研修を修了し、来年度の介護福祉士の国家試験を受験予定です。介護福祉士の資格を取得したら、将来は自国で日本の介護を伝えていきたいと思っています。

- ①事務職 ②人文知識、国際業務 ③中国(黒竜江省) ④2012年9月
⑤社会福祉法人伸こう福祉会 クロスハート幸・川崎(神奈川県川崎市)

資格取得をめざし、モチベーションをアップ

祖母の介護がきっかけで、福祉に興味を持ちました。中国のニュース番組で日本の福祉が充実していることを知り、「日本の福祉を学びたい」と強く思い、5年前に留学生として来日しました。大学で社会福祉学を勉強していくなかで、日本の介護の世界にかかわりたいと考え、大学の求人情報を見てクロスハート幸・川崎に応募しました。日本で働くなかで、言葉の難しさや仕事の忙しさを感じますが、周りの職員さんが優しくフォローしてくださるので頑張れます。ほかに、実務経験を積むと資格取得などのスキルアップができる部分は仕事へのモチベーションが上がります。今は、働きながら社会福祉士の資格を取得するため、日々勉強に励んでいます。



りゅう たく
劉澤さん
(29歳)

- ①管理職 ②高度人材 ③中国(山西省) ④2015年4月
⑤社会福祉法人合掌苑(東京都町田市)

安心できる介護施設を母国につくりたい

日本の大学院で中小企業の経営について学び、今年6月、合掌苑に入職しました。院時代は介護については詳しく知りませんでしたが、指導教官に「将来、中国も高齢者の増加が問題になる。日本の介護業界に就職して、中国に帰った時にその経験を役立てたい」とアドバイスされました。中国では介護施設での虐待などがニュースで取り上げられるので、介護に対して悪いイメージがあります。また、一人っ子政策の影響で若者が都市で働き、年老いた両親が田舎に残されるケースも増えています。親孝行の概念が日本以上に強いので、他に選択肢がないときに致し方なく、親を介護施設に入れるのが現状です。私はここ合掌苑でサービスの精神を学んで、将来、中国の介護の状況を少しでも変えていきたいと思っています。自分の両親も安心して預けられる施設を中国につくりたいです。



さい そかん
崔楚晗さん
(30歳)

- ①介護職 ②EPA介護福祉士 ③フィリピン ④2010年5月
⑤社会福祉法人聖隷福祉事業団 和合せいれの里(静岡県浜松市)

日本の文化、習慣などを事前に知っておいてほしい

EPAの二期生として来日しました。2014年1月、介護福祉士国家試験に合格しました。ケアマネジャーの試験には16年10月に合格しました。

日本に来てから半年間の日本語研修がありました。学ぶのは標準語です。最初は方言に戸惑いました。習慣の違いによる失敗もありました。ある日、エアコンの風が直接、利用者さんに当たっていたのでベッドの位置を変えました。そうしたら、家族から苦情が出たのです。北枕だったからです。夜に爪を切ることが日本ではタブーだということも後で知りました。

これから日本の介護の現場で働く後輩たちには日本語を勉強するだけでなく、日本の文化、習慣などについても事前に知っておいてもらいたいと思っています。そして、介護の仕事はコミュニケーションが一番大事です。機械を扱う仕事ではありません。高齢者が相手なら、それに合わせる努力は欠かせません。



バラデロ・モン・アンジェロさん
(29歳)



トラン・コン・ディエンさん
(29歳)

- ①管理職 ②高度人材 ③ベトナム ④2007年7月 ⑤社会福祉法人合掌苑(東京都町田市)

これから来日する技能実習生に文化の違い等を伝えたい

日本には最初、2007年10月にプレス加工の技能実習生として来ました。その後、専門学校などを経て、16年4月から合掌苑で働いています。現在は外国人の採用を行っています。3カ月の日本語研修をしたとはいえ、日本語はN5レベル、来日時は周りとのコミュニケーションも上手くできませんでした。ベトナム人は目上の人を大切にします。これは日本の介護にも通じるものがありますが、最初は文化、習慣の違いにも苦労しました。たとえば、時間通りに動く。挨拶するときはきちっと頭を下げるなどです。馴れるまでは大変でした。

自分が技能実習生として苦労した経験を活かし、これから来る技能実習生たちに文化の違いなどを紹介していきたいと思っています。そして、利用者に対しては常に笑顔、正直、誠実に接するよう指導したいと思っています。あと、なぜ日本で働くのか目標を持ってもらいたい。そうすれば働く意味も違ってきます。

- ①管理職 ②高度人材 ③ベトナム ④2007年7月
⑤社会福祉法人合掌苑(東京都町田市)

独特の用語をわかりやすいベトナム語に

ベトナムでは、まだ介護の仕事は一般的ではありませんが、将来は必ず多くの人に必要になってくると思い、今年5月に合掌苑に入りました。今は各現場を回って、介護がどのように行われるのか、勉強しています。それをベトナムの技能実習生に説明しなくてはいけないので、独特の介護の言葉をどのように日本語からベトナム語にしたらわかりやすいのかを研究しています。

技能実習生としてやってくるベトナム人には利用者さまにきちっと接してもらいたいと思います。日本で守るべきマナーを知らない人がいるならきちんとして説明したいと思います。時間を守る、きちんと挨拶をすることは大事ですが、真面目であることも大事だと思います。それから、日本語がまだ不十分なので難しいかもしれませんが、人生の先輩である利用者さまには敬語をきちんと使ってほしいと思っています。



チャン・ティ・チュック・フォンさん
(28歳)

社会福祉法人
寿泉会



社会福祉法人
合掌苑

